



まごころ便り

令和5年9月1日
荒川区立第七中学校
学校だより 9月号
校長 千葉 貴

目標に向かって

荒川区立第七中学校
校長 千葉 貴

2学期の始業式を迎え、学校に生徒の明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。夏季休業中は、保護者、地域の皆様が生徒を見守ってくださったことと思います。お陰様で無事に2学期を迎えることができました。また、ダンス部におきましては地域の行事にお招きいただき、ありがとうございました。今後も『尾久っ子ワクワクまつり』はじめ、様々な行事で地域の皆様とのつながりを深めていきたいと思っています。

さて、本日登校している皆さんの姿から一人ひとりが新たな目標をもっている様子がうかがえました。3年生はいよいよ進路決定の時期です。まだまだ時間に余裕があると思っても、あっという間に入試の時期は来ますが、焦ることなく、目の前のやるべきことに対して丁寧に取り組み、目標に向けて着実に努力を重ねましょう。2年生は、これから学校の中心になるという自覚をもって生活できていますか。2週間後には生徒会の選挙があり、七中の中心となって生徒会活動を引っ張っていきます。部活動に関しては、すでに新チームでの活動になっていますが、下級生を引っ張っていく大変さを感じているのではないのでしょうか。いろいろなことを経験しながら、学校生活全般において主体的にリーダーシップを発揮してください。1年生は中学校生活に慣れてきたと思いますが、1学期の反省を生かし新たな目標をもって生活してください。上級生を支えながら学校生活を充実させていきましょう。

7月のまごころ便りでは『家読』について触れましたが、時間の使い方を工夫し何冊かの本を読むことはできたでしょうか。私は2人の子供の習い事や部活動のサポートに時間を割くことが多く、予定していたほど、読書に時間を割くことができませんでした。現在読んでいる本は『地中の星』(著:門井慶喜 新潮社)です。東京に地下鉄を誕生させた早川徳次の物語です。機会があれば生徒のみなさんに紹介したいと思っています。

2学期は1年間の中で授業日数の一番多い学期ですが、自分の目標や挑戦したいことにじっくりと取り組める学期です。私たち教職員も生徒とともに日々を大切に、2学期を実りあるものにしていきたいと思っています。

先日、数人の友人と会食をする機会があり、アメリカ出身の友人から一冊の本をプレゼントしてもらいました。その本のタイトルは『心がスッと軽くなる英語フレーズ with スヌーピー』(原作:チャールズ・M・シュルツ・訳:山田 暢彦 学研)という本です。アメリカの人気コミック『PEANUTS』に出てくるフレーズが掲載されています。終わりにこの本から皆さんに1つの英語フレーズを紹介したいと思います。

【 If you expect nothing, you get nothing... 】

= 【 何も求めなければ、何も得られないってこと... 】

アイスクリームを食べているルーシーをじっと見つめるスヌーピー。でも、結局ひとりで全部食べてしまったルーシーを見て、別に期待してなかったもん、と負け惜しみを言うスヌーピー。スヌーピーのように悔しい思いをする前に、本当に欲しいものや叶えたいことがあるならば、後悔しないように最初から声や態度に出して求めましょう。そうすれば、いつかあなたの願いは叶うかもしれません。